

# 安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名 各地でこんな取り組みが

改題③

2020年3月5日

安倍9条改憲NO！全国市民アクション事務局

## 青森県 改憲発議阻止へ「憲法フォーラム」で市民と野党が交流 県内 16 団体

青森憲法フォーラムが2月23日青森市で開かれました。改憲発議反対全国緊急署名の運動を広げようと、青森県九条の会、県の市町村長九条の会、県内の地域九条の会と市民団体、共産党、社民党の16団体が主催したものです。フォーラムには主催団体のほか署名運動を取り組む市民も含め約60人が参加しました。

金澤茂県九条の会代表世話人が、改憲をめぐる情勢を報告、3000万人署名の到達の共有をと訴え、新署名の成功と総選挙に向け運動をひろげることを呼びかけました。7団体から地域での署名運動の取り組み・経験が報告されました。斎藤美緒共産党県書記長、三上武志社民党県連代表が発言、山内崇立憲民主党県連代表、田名部匡代参院議員・県連代表からのメッセージが紹介されました。

## 新潟県 緊急署名スタート集会 立ち見も含め 160 人が参加 アクション@長岡

安倍9条改憲NO！全国市民アクション@長岡は2月24日、改憲発議反対緊急署名のスタート集会を開きました。集会には160人が参加、満席となり、立って参加する人もいました。佐藤伸広立憲民主党県連幹事長、梅谷守国民民主党県連代表（代理）、長谷部登社民党県議、井上哲士日本共産党参院議員と立憲野党代表が勢ぞろいしました。井上参院議員が国会報告しました。

集会では菱山南帆子全国市民アクション運営委員・許すな！憲法改悪・市民連絡会事務局次長が講演。「多くの人に振り返ってもらうには『こんな未来にしようよ』と訴えたらどうか。街頭に出て若者に寄り添い、不満や要求を掘り起こしていこう」と述べました。

アクション@長岡発起人の僧侶・眞敷祐孝さんが、念仏者九条の会が作ったポスターを紹介し、「『選ぶな、戦争のスイッチ』と呼びかけたい」と訴えました。

事務局から署名運動の具体化と毎月19日の宣伝行動が提起されました。

## 東京都 「新憲法署名」スタート集会で決意と交流 三多摩市民アクション

安倍9条改憲NO！三多摩市民アクションが呼びかけた「改憲発議阻止・安倍首相退陣めざす 新・憲法署名スタート集会」が2月26日、国分寺市内で開かれました。改憲発議に反対する全国緊急署名を広く集めるために経験や活動を交流し決意を固めあいました。

集会では朝倉むつ子早稲田大学名誉教授（九条の会世話人）が講演。平和とジェンダー平等は非暴力の平和な社会構築の上で密接な関係にあることを解明しました。そして、「改憲の動きに対し、私たちの言葉で憲法を、自分を語ろう」と述べました。

矢野裕全国首長九条の会事務局次長（元狛江市長）は、「改憲反対へ勇気をもって行動している首長を支えていこう」と呼びかけました。

活動交流では、「3000万人署名の力の源となったのは学習だった。新署名もこうした学習を重ねて進めたい」、「署名を進める力ギは担い手をどれだけ増やすかだ、署名を集める仲間をつくろう」などの発言が続きました。

## 神奈川県 発議反対署名スタート集会 川崎市・中原署名実行委員会

1月23日、**安倍九条改憲NO！憲法を生かす中原署名実行委員会**が、かわさきゆめホール（川崎市中小企業者総合センター1階）で新署名スタート集会を開催しました。

集会では高田健全国市民アクション共同代表が講演しました。このなかで高田健共同代表は、安倍改憲をめぐる情勢、とりくみが開始された新署名について、なぜ今新署名か、めざすものはなにかなどについて詳しく報告、質問に丁寧に答えました。

## 愛知県 改憲発議反対署名に熱気 署名推進へ共同センターがキックオフ集会

**憲法改悪反対愛知共同センター**は2月13日、「『改憲発議に反対する全国緊急署名』推進愛知県キックオフ集会」を名古屋市内で開催しました。愛知憲法共同センターの呼びかけに応え、地域や市民団体、労働組合から110人が参加しました。

村上俊雄愛知共同センター共同代表が「悪政のもとで時間的・精神的に追い詰められている人たちと対話を重ね、署名を進めていこう」と呼びかけました。

講演した小田川義和全国市民アクション共同代表は「市民と野党の共同を前進させるためにもこの署名運動の成功を」「3000万人署名の到達点を踏まえ、地域・団体で目標を自主設定し、運動をさらに広げ、安倍改憲のねらいに決着をつけよう」と訴えました。

経験交流では、「戸別訪問の署名行動を通じ、安倍政権に強い怒りが感じられる。気持新たに市民と野党をつなぐ署名運動をしたい」「参院選の改憲勢力3分の2割れは間違いなく私たちの運動の成果。確信持って改憲発議を阻止しよう」「安倍9条改憲NO！あいち市民アクションが作った憲法パンフが7版を重ね、9万2000冊普及できた。街頭での反応がいい」などと発言が続きました。

行動提起・方針では、地域・団体、労働組合などが協力し、一体となって緊急署名を進めること、活動紹介・経験交流のニュースを週刊で出すこと、弁護士らを講師に草の根の学習会を行うこと、などが提起され、確認されました。

## 愛知県「署名は集めれば集めるほど力」あいち女性九条の会が「梅を見る会」

**あいち女性九条の会**は2月16日、名古屋市内で「さくらではなく梅を見る会—真実を知るために」を開催し、安倍首相がねらう9条改憲に反対し、発議を許さない世論をひろげようと話し合いました。44人が参加し、森英樹名古屋大学名誉教授と大沼淳一原子力市民委員会委員の助言を得ながら意見交換しました。

「3000万人署名を3400人集めた、緊急署名は4000人をめざしたい」「署名がこんなに集まっているのかと与党議員に衝撃を与えている」「悲惨な戦争を経て憲法ができてうれしかった。安倍さんの改憲の先には戦争が透けて見える。9条にだけは触れてほしくない」などと発言が次つぎされました。

参加者からは「署名は集めれば集めるほど力になると確信した。安倍首相の9条改憲をあきらめさせるために、地元で改憲発議反対緊急署名をひろげたい」と感想が述べられました。

## 兵庫県「安倍改憲にピリオドを」全県交流会議 県共同センター・革新懇

**憲法改悪ストップ兵庫県共同センターと兵庫革新懇**は1月25日、市民と野党の共同をめざす全県交流会議を神戸市内で開き、そのなかで新署名の取り組みが意思統一されました。

集会で憲法兵庫共同センターの津川知久代表が、3000万人署名が果たした役割について、市民と野党の共闘をひろげ、自民党の改憲案を提示させなかったことなど

を強調しました。そして、安倍政治を終わらせる「ピリオド署名」として改憲発議反対全国緊急署名を取り組もうと提起しました。

またこの集会では、高知県須崎市で活動する「戦争法廃止須崎の会」の八木敬三郎事務局長を招き、同氏から南国市と須崎市での市民と野党の共同の経験を聞きました。

### **宮崎県 一致点の共闘、新署名・対話を訴え 憲法のついで清水日体大教授**

「第87回憲法と平和を考えるついで」が2月11日、宮崎市・宮崎市民プラザで行われました。主催は**日本科学者会議宮崎支部と宮崎民主法律家協会**。

ついででは清水雅彦日本体育大学教授（憲法学）が講演しました（演題「安倍首相・自民改憲案の内容・問題点と対抗する理論・運動論」）。清水教授は、3000万人署名による草の根の市民運動と世論で改憲発議を許さずにいること、今、新たに始まった改憲発議反対全国緊急署名で国民との対話を強めることの大事さを語りました。

さらに、最悪の安倍政権を倒すためには一致点での共闘推進が必要であり、オール埼玉での連合埼玉と埼労連の連携を紹介し、「労組と市民と野党の共闘」を進めるために各地に「総がかり」の体制を築くことの重要性を強調しました。

### **日本共産党 党として発議反対署名目標 1000万人 小池書記局長が会見**

**日本共産党**が改憲発議に反対する全国緊急署名を1000万人の目標で取り組むことを表明しました。

同党の小池晃書記局長が2月10日国会内での記者会見で述べたものです。小池氏は会見で、2月6日の北とびあでの「市民集会（新署名スタート集会）」に立憲民主党、社民党の代表とともにあいさつしたことを紹介、改憲発議反対署名について、「党としては、1000万人の目標でこの署名に取り組み、党の全力をあげて安倍改憲を許さないという世論を草の根から広げていく」と語りました。

さらに同党国民運動委員会は2月12日、「安倍改憲発議ストップへ 1000万人の『緊急署名』を草の根から」との訴えを出しました。訴えは、この署名が自民党の改憲の動きに草の根から息の根を止める力を発揮するものであり、3000万人署名が参院選で改憲勢力を3分の2割れに追い込む力となったように、来るべき総選挙で市民と野党の共闘の勝利、日本共産党の躍進にとっても重要な意義をもつことなどを強調しています。そして、「県委員会、地区委員会、党支部で目標をもって、国民の中に大いに打って出ましょう。市民団体や野党各党、保守層といわれるみなさんとの共同の取り組みを促進しましょう」としています。

（しんぶん赤旗2月11日付、同2月13日付から）

### **北海道「黙っていたら平和は守れない」と160回目の行動 札幌西区民の会**

**戦争させない札幌市西区民の会**は2月19日、地下鉄琴似駅前で改憲発議反対緊急署名行動に取り組みました。同会は毎月、「9」がつく9日、19日、29日に宣伝署名を取り組み、この日の行動は160回目となりました。

綿雪が降りしきる中、横断幕やのぼりを掲げ、チラシを配りました。「お友だちファースト 憲法無視 安倍政治NO!」の大型プラスターも目をひきました。

「安倍さんはやりたい放題。だからといって戦争する国にするなんて許せません。そんなことはやらせない」「憲法に自衛隊を書き加えて、また「いつか来た道」、怖いです」などの声とともに署名が寄せられました。

### **青森県 緊急署名で対話次つぎ 青森県九条の会**

**青森県九条の会**は2月18日、青森市の新町商店街で11人が参加して、「安倍改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名」の取り組みを行いました。

雪と強風にもかかわらず署名と対話が進みました。

70歳代の女性は、「安倍政権は小選挙区制で生まれた。自民も公明も数だけ多く、何の役割も果たさないばかりか悪いことばかりやる。ああ、早く政権を替えたい」と憤り、嘆く声。83歳という女性は、「安倍さんはよくありません。自分のことばかり、勝手な人。こんな首相はみたことがありません。まったくよくありません」穏やかに怒りを表明するなど途切れない対話となりました。

### **福島県 だるま市での訴えに反響 白河市で共同センター**

**憲法を守る白河共同センター**は2月11日、白河伝統の「だるま市」でにぎわう「市」の会場近くで緊急署名に取り組みました。「桜やカシノ、中東への自衛隊送り…ウソごまかしの繰り返し、憲法や法律を踏みしめる安倍さんに憲法を変えさせたらたいへんなことになる」「子どもたちが戦争にまきこまれないか、未来が心配」などと怒りを込めて署名が次つぎ寄せられました。

行動には17人が参加、1時間の行動で77人が署名しました。

### **千葉県 駅前が発議反対署名訴え 安倍首相の横暴ダメの声 津田沼革新懇**

千葉県の**国税OB千葉革新懇（津田沼革新懇）**は2月14日、JR津田沼駅北口（習志野市）で「安倍9条改憲NO！ 改憲発議に反対する全国緊急署名」を呼びかけました。

署名した女性は、「安倍さんは、自衛隊を中東に出すし、辺野古の建設はごり押しするし、国会でのヤジもひどい」と怒りを語りました。

### **東京都 首相独断の全校休校などに抗議し宣伝・署名 東京憲法共同センター**

コロナウィルス感染拡大が報じられる中、**憲法改悪に反対する東京共同センター**は2月28日、池袋駅東口で9団体・19人が参加し、改憲発議反対緊急署名と社会保障・医療の充実を求める署名の宣伝署名行動を行いました。署名は3人から寄せられました。

宮城県石巻市から来たという女性（70歳代）は「息子が商売をしているが、消費税増税とコロナでこのままでは倒産してしまう。なんとかしてほしい。がんばって」と署名。60歳代の女性は「安倍さんがやっていることは脅しだ。言うがままではだめだ、安倍さんを倒そう」と語り、集めるからと用紙を持ち帰りました。小平市の男性（80歳代）も「安倍さんはダメ、総理大臣を変えた方がいい。仲間にも頼んでみる」と用紙を2枚持ち帰りました。

同センターでは、恒例の宣伝署名行動ではあるが、コロナ感染拡大といういつもと違う環境での行動であり、具体的に署名をしてもらう場合にどうするか、チラシの配布をどのようにやったらいいかなどについて相談し、アルコール消毒液などを用意しました。結果、チラシの受け取りもよく、対話で生の声を聞くこともでき、中止しないでよかったと総括しています。

（「憲法ニュース」東京憲法共同センター〔東京憲法会議〕発行 470号〔3月4日付〕から）

### **大阪府 28人が近鉄の駅前で「新署名開始大行動」羽曳野総がかり**

**羽曳野総がかり行動実行委員会**は2月19日、近鉄の古市駅前で「新署名開始大行動」を繰り広げました。行動には28人が参加。新しく作った「あなたの署名が、

平和を守る 若者を守る」「あなたの署名が、改憲発議を阻止します」「あなたの署名が、安倍政治を終わらせます」のプラスターを掲げて緊急署名を訴えました。

訴えに応えて若い人たちが、「僕やります」「署名させてもらいます」などとすすんで署名してくれました。

なかには「前にやった」という人もいて、発議阻止の新しい署名であることを説明し、署名してもらう場面もありました。

終了後、行動参加者から、若者たちが多く署名してくれ励まされたこと、発議反対の新しい署名であることを知ってもらう工夫があるなどの感想が出されました。

(「平和 九条憲法」大阪憲法しんぶん速報版 538 号〔2月26日付〕から)

### **大阪府 発足4周年記念学習会で発議反対署名提起 戦争させない池田の会**

池田市で活動する**戦争させない池田の会**は2月24日、池田中央公民館で発足4周年を記念する学習会を50人の参加で開きました。

中平史弁護士(明日の自由を守る若手弁護士の会)の講演「今こそ生かそう、日本国憲法」で学習しました。

仲森明正事務局長が年間の活動報告をし、今後の活動として、改憲発議に反対する全国緊急署名に取り組むことを提案しました。

(「平和 九条憲法」大阪憲法しんぶん速報版 538 号〔2月26日付〕から)

### **大阪府 地域に入り、草の根から発議反対の世論を 憲法守れ枚方実行委員会**

**戦争法廃止・憲法守れ枚方実行委員会**は2月23日、市民会館で25人で全体会を開催しました。参加した25人が憲法発議反対緊急署名の意思統一をしました。

会議では、山田憲司大阪憲法会議・共同センター事務局長が問題提起をおこない、学習しました。地域や団体の活動報告の交流が行われました。

「地域に入り、草の根の運動を」と署名運動の行動提起を確認しました。

(「平和 九条憲法」大阪憲法しんぶん速報版 538 号〔2月26日付〕から)

### **広島県 改憲反対、暮らしといのちの要求かけヒロシマ総行動で署名活動**

**ヒロシマ地域総行動実行委員会**は2月27日、国民春闘をたたかうヒロシマ労連や広島市内の労働組合、市民団体による29回目となる「ヒロシマ総行動」を取り組み、広島駅前、合同庁舎周辺など20カ所での宣伝、県や教育委員会、マツダ、JR中国電力、病院、介護施設などを訪問・懇談を行いました。昼休みには繁華街をデモ行進しました。

参加者はデモ終了後、「安倍9条改憲NO! 改憲発議反対全国緊急署名」に取り組む、市民に協力を呼びかけました。

### **徳島県 プラカード「アベ政治を許さない」を掲げ署名呼びかけ 徳島共同センター**

**徳島憲法共同センター**は3月3日、徳島駅前で、「アベ政治を許さない」の行動と改憲発議反対緊急署名の呼びかけをしました。午後1時には全国の行動に呼応して「うそ、ごまかし、隠べいのアベ政治を許さない!」などとコールしました。

署名した77歳の女性は、「新型コロナ対策も、緊急事態法をつくるねらいが透けて見える。安倍さんは早く辞めてほしい」と怒りを込めて語りました。

各地の地域・職場・団体などの改憲発議反対緊急署名運動の様子、計画などをお寄せください。メモでもニュースでも何でも結構です。(事務局)

送り先⇒メールアドレス：[info@kaikenno.com](mailto:info@kaikenno.com)